

包括連携協定の概要

2025年5月9日

関西電力株式会社

- 家庭・業務・産業・運輸、全ての分野で電化やCO2フリーの電気料金メニューの活用等の非化石転換の取組みを深化することで、カーボンニュートラル社会の早期実現を目指す

現状・課題

- 技術開発力・ノウハウ・専門人材の不足等、当社単独での解決が困難
- カーボンニュートラルの取組みをさらに加速するためには、関西エリアにとどまらず、首都圏を含めた、全国での取組みの拡大が必要

ありたい姿

- お客さまや、ビジネスパートナー、国や自治体、研究機関等と連携
- 家庭・業務・産業・運輸、全ての分野で電化や非化石転換の取組みを深化させ、広く全国に展開
- カーボンニュートラル社会を実現し、ひいては、地域コミュニティの課題解決に繋げる

- 早稲田大学と関西電力が包括的に連携・協力し、それぞれの強みを活かして融合することで、相互の基盤を強化しつつ、**カーボンニュートラル社会の早期実現**を目指す



早稲田大学

- 著名な研究者・最先端の研究実績
- メーカー等とのネットワーク
- 国際的な情報発信力や知名度



関西電力グループ

- エネルギーマネジメントに関するノウハウ・技術コンサルカ
- グループサービスを活用した豊富な提案力
- 幅広いお客さまとの接点・関係性



➤ 取組み内容

カーボンニュートラルに資する技術の開発・導入と、それらを活用した
未来志向型まちづくりプロジェクトの実現等について、連携し協力して取り組む

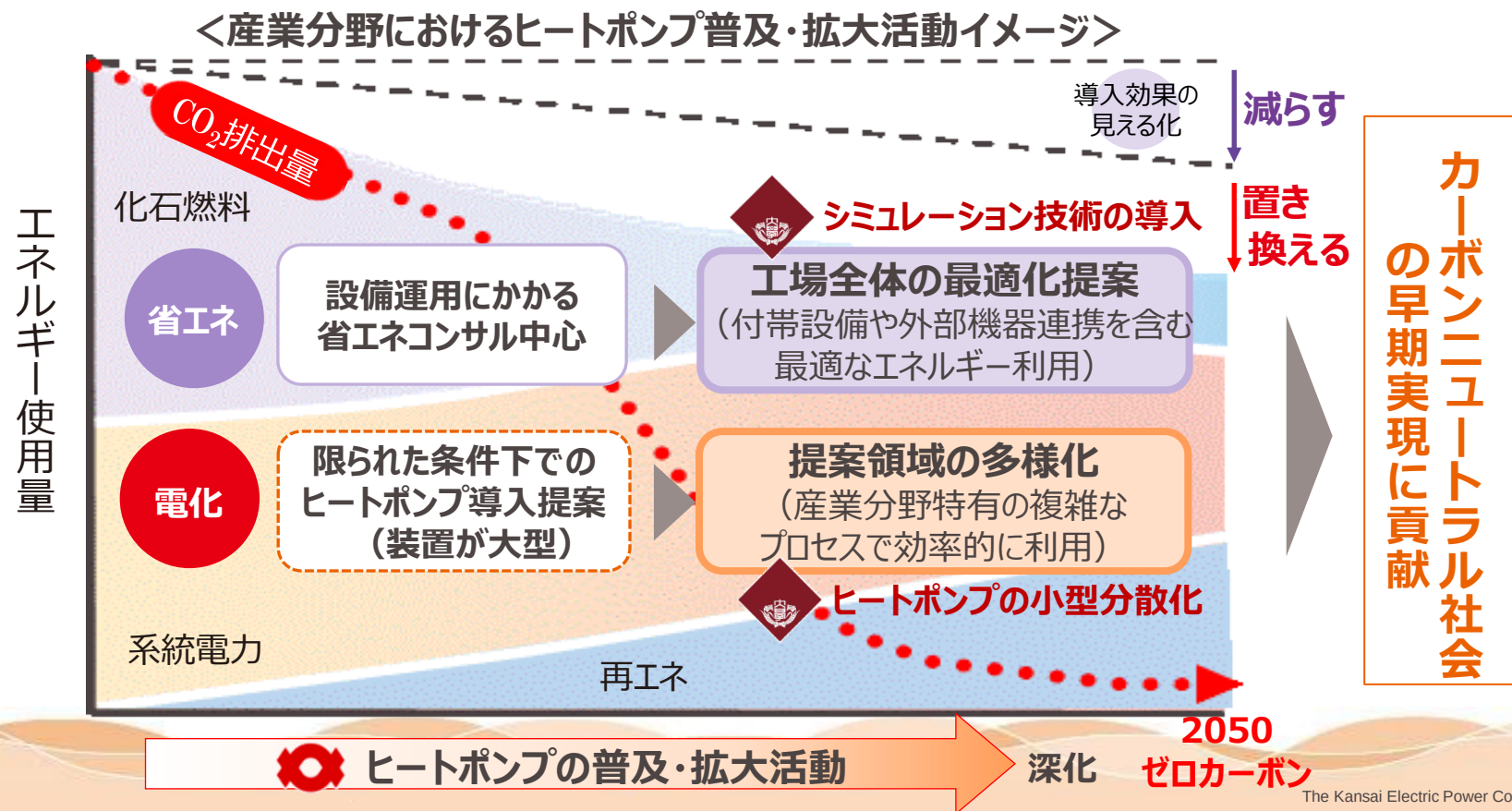
➤ 主要テーマ

- ① ヒートポンプの普及・拡大
- ② 「まちづくり×エネルギー×モビリティ」をコンセプトとしたスマートシェアリングタウンの実現等



得られた成果を、両者のネットワークを活用し、全国で新たな価値を提供

- 家庭・業務等、あらゆる分野で電化・ヒートポンプ技術の普及・拡大に取り組んでいるが、**産業分野では、装置が大型で用途が限定的であること等から普及が進んでいない**
- 産業分野は**排熱（活用せずに捨てられる熱）が多く存在し、CO2を多く排出**するため、カーボンニュートラル社会の実現に向け対応が必要不可欠
- **早稲田大学の次世代ヒートポンプに関する研究実績と、当社の技術コンサル力・多様なお客さま接点等を組み合わせ、産業分野をはじめ社会全体のヒートポンプ普及を牽引していく**



- エネルギーを中心に脱炭素・防災機能強化等に重点を置いたまちづくりの提案を進めてきたが、さらに、早稲田大学の最先端の研究実績等を活かし、**最新の省エネ基準**を満たす住宅・ビル、自動運転・ワイヤレス給電等の**先進的なモビリティ技術**を取り入れ、**地域コミュニティの課題解決を図る**
- 都市部・地方のモデル地区において、関電不動産開発等、当社グループが保有・参画する物件を起点に、「**まちづくり×エネルギー×モビリティ**」を**コンセプト**とした**持続可能なスマートシェアリングタウンの構築**に取り組む

従来の活動（一例）

エネルギー面的利用

- ・一括受電
- ・地域冷暖房 等

省エネ

- ・ZEH、ZEB
- ・エネルギーマネジメント 等

未利用エネルギー活用

- ・下水熱利用
- ・帯水層蓄熱 等

ゼロカーボン電力供給

- ・再エネ
- ・原子力 等

モビリティ

- ・EV充電
- ・最適制御 等

実現したい姿

シェアリング

モビリティ

- ・自動運転
- ・ワイヤレス給電 等

エネルギー

- ・GX志向型住宅
- ・DRready 等

新たな
知見・概念

深化

エネルギー

**持続可能な
スマートシェアリングタウン
の構築**

経済

住まい

物流

移動